

ConMas Designer

ネットワーク / カーボンコピー

操作説明書

2024/1/18

改訂履歴

日付	バージョン	記載ページ	改訂内容
2012/11/02	--	--	初版を発行しました。
2013/04/23	V3.0	--	ネットワーク設定の複数削除に関して追記。
		--	チェックグループのネットワークについて記載。
		--	バリューリンク設定画面レイアウトを変更。
		--	カーボンコピー設定の複数削除に関して追記。
2013/08/30	V3.1	--	カーボンコピーが使用可能なクラスター種別に関して追記。
2014/03/06	V3.2	--	後続クラスターのインプット部品を自動表示する設定に関して追記。
2016/01/12	V5.1.6172	--	ネットワーク制限設定に関して追記。
2016/02/02	V5.1.6278	--	後続クラスターの自動入力機能について追記。
2016/07/29	V5.2.16070	P13-14	先行クラスターがチェッククラスターの場合について追記。
		P42	カーボンコピー先の編集可否について追記。
2016/09/01	V5.2.16080	P20-21	マスター選択デフォルト検索値設定について追記。
2017/10/05	V6.0	P15	Windows版未対応であることを追記
2018/02/07	V6.0	P43	カーボンコピー先の編集可否の一括変更について追記。
2018/04/03	V6.0	P25-38	ネットワークのコピー/ペースト機能について追記。
2018/04/05	V6.0	P22	マスター選択デフォルト検索値設定の制限
2018/08/01		P45	「クラスターのコピーによるネットワーク/カーボンコピー情報のコピー」を追記。
2018/10/19	V6.2	P10	後続クラスターのインプット部品を自動表示しない場合について追記。

改訂履歴

日付	バージョン	記載ページ	改訂内容
2018/11/5	V6.2	P28	ネットワークのコピーとペースト時のクラスターの選択方法を追記。
		P30	ネットワーク一覧からのネットワークコピーを追記。
		P32	ネットワークペースト（先行または後続クラスターが1つの場合）を追記。
		P34	ネットワーク一覧からのネットワーク設定ペーストを追記。
2018/11/6	V6.2	P16	先行承認クラスターの場合の後続クラスターの自動入力機能について、Windows版の動作を追記。
2019/1/7	V6.2	P22	Windows版におけるマスター選択デフォルト検索値設定の制限について追記
2019/3/19	V6.2	P26	バリュールングにて先行クラスターを選択後、後続クラスターの項目が1つであった場合の動作を追記
2019/7/16	V6.2	P45	計算式を利用したEXCELファイル上でのカーボンコピー設定を追記
2020/12/22	V8.0.20120	P13	「先行クラスターが同一グループIDのチェッククラスターの場合」の設定が表示される条件を変更しました。
2021/3/22	V8.0.21020	P45を追加	カーボンコピーの制限 2. カーボンコピーが動作するタイミング を追記。
2024/1/18	V8.1.23100	P.31	ネットワークペーストの条件を追記。

目次

• ネットワークの設定	5
• ネットワークの制限設定	8
• ネットワークによる入力制御	9
• 後続クラスターのインプット部品を自動表示	10
• チェックグループのネットワーク	12
• 先行クラスターがチェッククラスターの場合	13
• 後続クラスターの自動入力	15
• 大小比較の設定	18
• マスター選択デフォルト検索値設定	20
• マスター選択デフォルト検索値設定の制限	22
• ネットワークの入替え	23
• バリュールinkの設定	24
• ネットワークのコピーとペースト	27
• ネットワークのコピーとペースト時のクラスターの選択方法	28
• ネットワークコピー	29
• ネットワーク一覧からのネットワークコピー	30
• ネットワークペースト	31
• ネットワークペースト（先行または後続クラスターが1つの場合）	32
• ネットワーク設定ペースト	33
• ネットワーク一覧からのネットワーク設定ペースト	34
• ネットワーク削除	38
• カーボンコピーの設定	39
• カーボンコピーの編集可否	42
• カーボンコピーの編集可否の一括変更	43
• カーボンコピーの制限	44
• 計算式を利用したEXCELファイル上でのカーボンコピー設定	46
• クラスターのコピーによるネットワーク/カーボンコピー情報のコピー	48

ネットワークの設定

ネットワークを設定する

- ネットワーク設定では、2つのクラスターを「先行」「後続」として設定し、ネットワークで結ぶことができます。ネットワークは入力順番の制御、入力値の連動などに利用されます。

The screenshot illustrates the steps to configure a network in the ConMas Designer software. On the left, a 'クラスターモード' (Cluster Mode) menu is shown with 'ネットワーク設定' (Network Setting) selected. An orange arrow points from this menu to the main application window. In the main window, the '作成日' (Creation Date) field is highlighted with a red dashed box, and a blue callout bubble says '先行クラスターをクリックします' (Click the leading cluster). Another orange arrow points to the '部署名' (Department Name) field, also highlighted with a red dashed box, with a blue callout bubble saying '後続クラスターをクリックするとダイアログが表示されます' (Clicking the subsequent cluster displays a dialog). A 'ConMas Designer' dialog box is open, asking 'ネットワーク設定しますか?' (Do you want to set the network?) with 'はい' (Yes) and 'いいえ' (No) buttons.

クラスターモード

- 配置
- 選択
- 固定
- ハンドツール
- ネットワーク設定
- カーボンコピー設定
- プレビュー

不具合報告 兼 品質対

株式会社シムトップス

作成日 作成日 選択中

製造工場

製品群

先行クラスターをクリックします

後続クラスターをクリックするとダイアログが表示されます

部署名 部署名 選択中

作成者

ConMas Designer

? ネットワーク設定しますか?

はい いいえ

[クラスターモード]の、[ネットワーク設定]を選択します。

▼ ネットワークの設定

- ネットワークが設定され、ネットワーク線が表示されます。

株式会社シムトップス

作成日		部署名		作成者
製造工場		図面NO.		
製品群		適応車種		

- [ネットワーク設定]ツールを選んでいる間は、クラスター一覧が「ネットワーク一覧」になります。一覧には、ネットワーク線の先行/後続などの情報が表示されます。
- 一覧から、作成したネットワークの行をクリックで選択すると、編集画面でクラスターの色が変わり、先行/後続のクラスターを強調表示します。

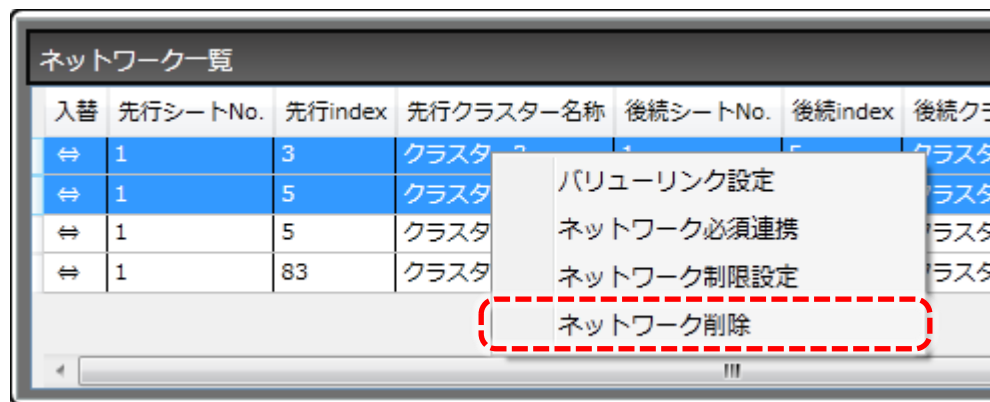
1	2	3	4	5	6	7
1	2	3	4	5	6	7
⇄	1	0	作成日	1	2	

株式会社シムトップス

作成日		部署名		作成者
製造工場		図面NO.		
製品群		適応車種		

▼ ネットワークの設定

- 任意の行で右クリックメニューから、ネットワーク設定を削除できます。複数行を選択して一括削除することもできます。



ネットワーク一覧

入替	先行シートNo.	先行index	先行クラスター名称	後続シートNo.	後続index	後続クミ
⇔	1	3	クラスター	5	5	クラスター
⇔	1	5	クラスター	5	5	クラスター
⇔	1	5	クラスター	5	5	クラスター
⇔	1	83	クラスター	5	5	クラスター

バリュールink設定
ネットワーク必須連携
ネットワーク制限設定
ネットワーク削除

ネットワークの制限設定

- ネットワークによる入力・表示制御を設定するには、一覧から、対象のネットワーク行の上で右クリックメニューを表示して、[ネットワーク制限設定]を選択します。

ネットワーク一覧						
入替	先行シートNo.	先行index	先行クラスター名称	後続シートNo.	後続index	後続
⇄	2	46	単一選択	2	47	単一
⇄	2	47			8	単一
⇄	2	48			9	単一
⇄	2	49			0	単一
⇄	2	8				数値
⇄	2	14			3	数値
⇄	2	20			20	数値

- バリューリンク設定
- ネットワーク必須連携
- ネットワーク制限設定**
- ネットワーク削除

先行クラスター未入力時の後続クラスターの入力制御
 制限なし 警告を表示して入力許可 入力不可

タブレット操作時に、ネットワーク接続された後続クラスターのインプット部品を自動表示
 しない する

記入不要マークを表示
 しない
 先行クラスター入力時に、すべての後続クラスターに表示する
 先行または後続いずれかのクラスター入力時に、もう一方の全クラスターに表示する

後続クラスターの自動入力
▼

■先行クラスターに値を入力したとき
 後続クラスターに値を入力する
 無効

■先行クラスターの入力値をクリアしたとき
 後続クラスターに値を入力する
 後続クラスターをクリアする
 無効

ネットワークの大小関係
■先行クラスター クラスター120 ▼
■後続クラスター クラスター121 ▼

OK

- [ネットワーク制限設定]では、以下の設定を行います。
 - ネットワークによる入力制御
 - 後続クラスターのインプット部品を自動表示
 - 記入不要マーク表示
 - 後続クラスターの自動入力
 - ネットワークの大小関係

[3.記入不要マークの表示]についての詳細はマニュアル『未入力クラスターへの記入不要マーク表示機能操作説明書』を参照下さい。

ネットワークによる入力制御

- ネットワークに入力制御を設定するには、一覧から、対象のネットワーク行の上で右クリックメニューを表示して、[ネットワーク制限設定]を選択します。

ネットワーク一覧						
入替	先行シートNo.	先行index	先行クラスター名称	後続シートNo.	後続index	後続
⇄	2	46	単一選択	2	47	単一
⇄	2	47			8	単一
⇄	2	48			9	単一
⇄	2	49			0	単一
⇄	2	8				数値
⇄	2	14			3	数値
⇄	2	20			20	単一

先行クラスター未入力時の後続クラスターの入力制御

制限なし 警告を表示して入力許可 入力不可

タブレット操作時に、ネットワーク接続された後続クラスターのインプット部品を自動表示

しない する

記入不要マークを表示

しない

先行クラスター入力時に、すべての後続クラスターに表示する

先行または後続いずれかのクラスター入力時に、もう一方の全クラスターに表示する

ネットワークの大小関係

■ 先行クラスター
クラスター8

■ 後続クラスター
クラスター9

OK

- 入力許可**：ネットワークを表示しますが、後続クラスターには通常通り入力できます。
- 警告を表示して入力許可**：先行クラスターが空の時に、後続クラスターはグレーで表示され、入力しようとする、「前の入力項目が入力されていません。本当に入力しますか？」というダイアログが表示されます。
- 入力不可**：先行クラスターが空の時に、後続クラスターには鍵マークが表示され、先行クラスターが入力されるまで後続クラスターへの入力はできません。

CIMTOPS 株式会社シムトップス

不具合報告 兼 品質

作成日		担当者	
製造工場		図面NO.	
製品群		適応車種	

入力不可の場合の表示。
鍵マークがついていて、先行クラスターを
入力するまでロックされています

後続クラスターのインプット部品を自動表示

- ネットワーク接続されたクラスターに関して、タブレット操作時に、先行クラスターの入力を終えた後、自動で後続クラスターに移動し、後続クラスターを入力開始状態にすることができます。
(トグル選択クラスターなど、入力完了タイミングを特定できないクラスターが先行の場合は、動作しません。)



先行クラスターを入力

先行クラスターを入力後、自動的に後続クラスターへ移動し、入力開始状態になる。

ConMas I-Reporter 不具合報告・品質対策シート

作成日		部署名	作成者
製造工場		図面NO.	
製品群		適応機種	
部品名		客先	
発生日時		発見場所	
LOT#		不具合品数量	
<状況>			

2012年 01月 04日(火)

2013年 02月 05日(水)

2014年 03月 06日(木)

2015年 04月 07日(金)

2016年 05月 08日(土)

作成日 2014年03月06日(木)

署名

材料調達グループ

加工グループ

マシニンググループ

組立グループ

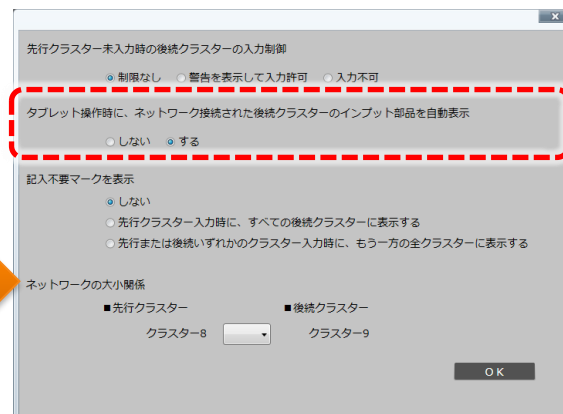
出荷検査グループ

不具合内容

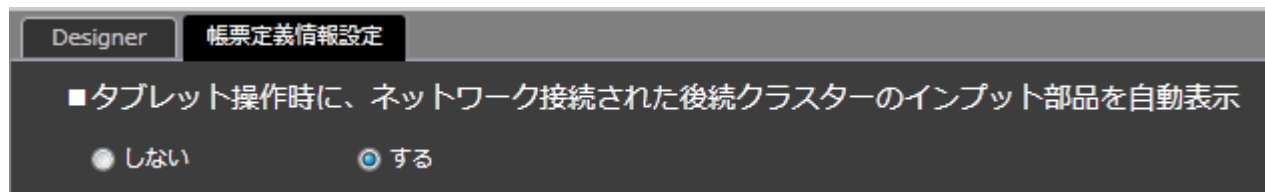
▼ 後続クラスタのインプット部品を自動表示

- 自動で後続クラスタを入力開始状態に設定するには、一覧から、対象のネットワーク行の上で右クリックメニューを表示して、[ネットワーク制限設定]を選択します。

ネットワーク一覧						
入替	先行シートNo.	先行index	先行クラスタ名称	後続シートNo.	後続index	後続
⇄	2	46	単一選択	2	47	単一
⇄	2	47			8	単一
⇄	2	48			9	単一
⇄	2	49			0	単一
⇄	2	8				数値
⇄	2	14			3	数値
⇄	2	20			20	数値



- 「タブレット操作時に、ネットワーク接続された後続クラスタのインプット部品を自動表示」にて、「する」を選択する事で、自動で後続クラスタを入力開始状態にする設定となります。
※デフォルトは「する」設定となります。
- また、「帳票定義情報設定」タブ画面にも同様の設定があります。
帳票定義単位で「しない」を設定した場合、ネットワーク単位で「する」を設定をしても無効となり、すべてのネットワークにおいて、自動で後続クラスタを入力開始状態には「しない」設定となります。帳票定義単位で「する」を設定した場合にのみ、ネットワーク単位での「する」設定が有効となります。



チェックグループのネットワーク

- 先行が、グループ設定された複数のチェッククラスターの場合は、そのうちのどれかがチェックされれば後続のクラスターを入力できます。

3つのグループ化された
チェッククラスター

3つのうちの1つにチェック

入力可能になります

時刻	時刻	時刻計算 (閾値)	時刻	時刻
チェック	円	楕円	チェックBox	チェック
トグル選択	○10,△5,X0	A10,B7,C5,D0	あ7,い5,う,え,お	優
単一選択	🔒	単一選択	🔒	
複数選択				複数

時刻	時刻	時刻 (閾値)	時刻	時刻
チェック	円	楕円	チェックBox	チェック
トグル選択	○10,△5,X0	A10,B7,C5,D0	あ7,い5,う,え,お	優10,良5,可3
単一選択		単一選択	🔒	単一選択
				複数選択(長文)

先行クラスターがチェッククラスターの場合

- ネットワークで繋いだ先行クラスターがチェッククラスターの場合にネットワーク制限設定で、かつ、「タブレット操作時に、ネットワーク接続された後続クラスターの入力部品を自動表示」が「する」に設定されている場合に、「先行クラスターが同一グループIDのチェッククラスターの場合」という設定が表示されます。

先行クラスター未入力時の後続クラスターの入力制御

制限なし 警告を表示して入力許可 入力不可

タブレット操作時に、ネットワーク接続された後続クラスターの入力部品を自動表示

しない する

先行クラスターが同一グループIDのチェッククラスターの場合

ネットワークを繋いだ後続クラスターのみ設定の対象とする

無効

「する」が設定されている場合

「先行クラスターが同一グループIDのチェッククラスターの場合」の設定が表示されます。

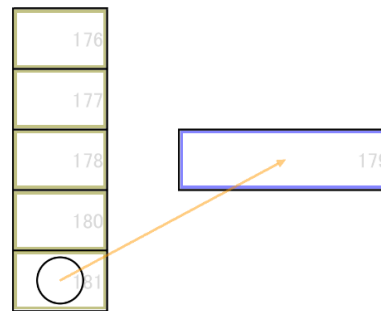
▼ 先行クラスターがチェッククラスターの場合

• ネットワークを繋いだ後続クラスターのみ設定の対象とする

同一グループIDのチェッククラスターのうち、実際にネットワークで繋がれたチェッククラスターにチェックを入れた場合のみ、後続クラスターの入力部品が自動表示されます。

ネットワークに繋がれていないチェッククラスターにチェックを入れても後続クラスターの入力部品は自動表示されない

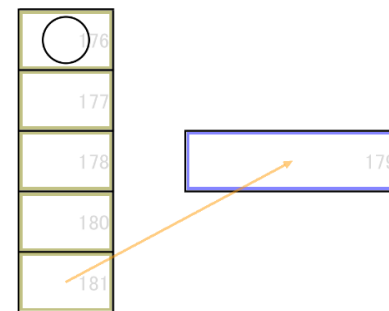
ネットワークに繋がれたチェッククラスターのみ後続クラスターの入力部品が自動表示される



• 無効

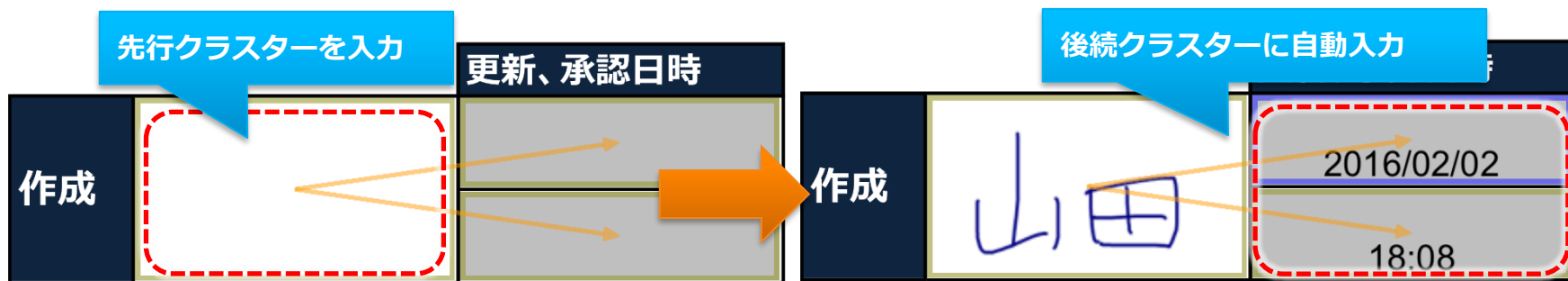
同一グループIDのチェッククラスターのうち、1つでもネットワークで繋がれたチェッククラスターがあれば、いずれかのチェッククラスターにチェックを入れた場合に、後続クラスターの入力部品が自動表示されます。（V5.1以前と同様の動作になります）

同一グループIDのチェッククラスターであれば、いずれにチェックを入れても後続クラスターの入力部品が自動表示される



後続クラスターの自動入力

- ネットワーク接続されたクラスターに関して、先行クラスターの入力を終えた後、後続クラスターに自動的に値を入力します。
- 自動入力される内容はクラスター種別ごとに設定されています。
- 設定された後続クラスターは読取専用となり、手入力による変更はできなくなります。

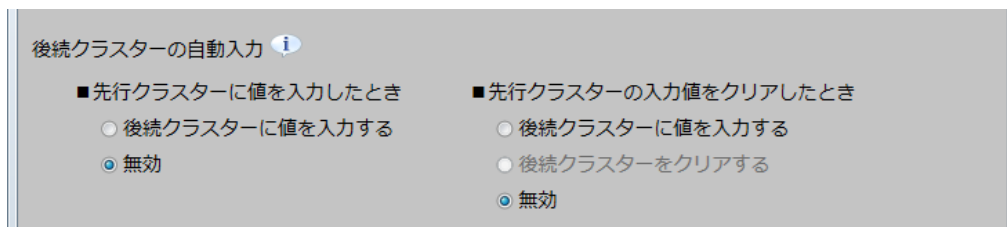


- 入力対象になる後続クラスターの種別と入力値
 - 年月日 → 入力した時点の日付
 - カレンダー年月日 → 入力した時点の日付
 - 時刻 → 入力した時点の時刻
 - ログインユーザー → 入力したユーザー
 - チェック → ON

※ 帳票登録年月日のように、先行クラスターが自動入力されるクラスターの場合、設定は無効になります。

▼ 後続クラスタの自動入力

- 自動で後続クラスタを入力開始状態に設定するには、一覧から、対象のネットワーク行の上で右クリックメニューを表示して、[ネットワーク制限設定]を選択します。



- 先行クラスタに値を入力したとき
 - 後続クラスタに値を入力する：先行クラスタを入力した時点の情報を、後続クラスタに自動的に入力します。
 - 無効（規定値）：自動入力を行いません。

【注意】 先行が承認クラスタの場合、iOS版 i-Reporter と Windows版 i-Reporter で動作が異なります。

【iOS版 i-Reporter】

「承認」時のみ後続クラスタに値が入力されます。「申請」、「差し戻し」時は入力されません。

【Windows版 i-Reporter】

「タブレット操作時に、ネットワーク接続された後続クラスタのインプット部品を自動表示」の設定により下記のように動作します。

「する」に設定している場合：「申請」、「承認」、「差し戻し」時に後続クラスタに値が入力されます。

「しない」に設定している場合：「承認」時のみ後続クラスタに値が入力されます。

- 先行クラスタの入力値をクリアしたとき
 - 後続クラスタに値を入力する：先行クラスタをクリアした時点の情報を、後続クラスタに自動的に設定します。
 - 後続クラスタをクリアする：後続クラスタの入力値を自動的にクリアします。
 - 無効（規定値）：自動入力を行いません。

▼ 後続クラスタの自動入力

- 先行クラスタの種別が承認のときは、Managerからの承認時も後続クラスタへの入力が行われます。
- 入力帳票管理 - 承認状況画面

▼承認状況

帳票内ページ番号	クラスタID	クラスタ名	状況	申請日	申請者	承認日	承認者
1	47	承認	承認待ち 承認 差し戻し <input type="text"/>	2016/02/02 20:50	o.o		
2	23	承認					

- 入力帳票一覧 - 一括承認画面

公開 ▼ -編集ステータス- ▼ シート

<input type="checkbox"/>	ID	帳票名称	元ID	REV	状態	登録日時
<input checked="" type="checkbox"/>	1975	作成査問承認	1975	1	承認待ち	2016/01/21 13:55
<input checked="" type="checkbox"/>	1691	作成査問承認	1691	1	承認待ち	2015/11/26 15:16

大小比較の設定

数値、数値選択、または年月日と時刻には大小比較を設定できます

- 数値と数値選択クラスターの組合せ、または年月日同士、時刻同士のクラスターに設定できます。

Serial#	生産日時	生産数量	検査数量	OK数
ク-18	生産月日-1-R1	生産数量-1-R1 (先行)	検査数量-1-R1 (後続)	検査-1-R1
ク-18	生産月日-1-R2			クラスター-22
ク-18	クラスター-19	クラスター-20	クラスター-21	クラスター-22

ネットワーク一覧							
入替	先行シートNo.	先行index	先行クラスター名称	後続シートNo.	後続index	後続クラスター名称	バリュールink
⇄	1	3	製造工場	1	5	製品群	True
⇄	1	5	製品群	1	7	製品名	True
⇄	1	5	製品群	1	6	適応機種	True
⇄	1	83	クラスター-83	1	85	クラスター-83	False
⇄	1	0	作成日	1	1	部署名	False
⇄	1	20	生産数量-1-R1	1	21	検査数量-1-R1	False

- この例では「生産数量は、検査数量以上となる」とします。
- ネットワーク一覧で、該当の行の右クリックメニューから「ネットワーク制限設定」を選択します。

▼ 大小比較の設定

- 大小比較を設定できる組合せであれば、「ネットワークの大小関係」という設定が下段に表示されます。



- 先行と後続の間にあるプルダウンメニューから、設定したい条件を選んで「OK」をクリックします。

入替	先行シートNo.	先行index	先行クラスター名称	後続シートNo.	後続index	後続クラスター名称	バリューリンク	Skip	大小関係	必須連携
⇔	2	46	単一選択	2	47	単一選択	False	0		False
⇔	2	47	単一選択	2	48	単一選択	False	0		False
⇔	2	48	単一選択	2	49	単一選択	False	0		False
⇔	2	49	単一選択	2	50	単一選択	False	0		False
⇔	2	8	数値	2	9	数値	False	0	LessEqual	False
⇔	2	14	数値選択	2	13	数値選択	False	2	NotEqual	False
⇔	2	20	ネットワーク	2	20	ネットワーク	False	0		True

ネットワーク一覧

大小関係の列に設定が表示されます

マスター選択デフォルト検索値設定

ネットワークで繋いだ先行クラスター（複数可）の入力値が、後続となるマスター選択クラスターのフィールド検索デフォルト値となり、検索を実行した状態でマスターデータを表示できます。

- 下記の例では、キーボードテキストクラスターへ“TEXT1”という文字列を入力後、マスター選択クラスターをタップすることで、フィールド1の検索値を“TEXT1”とした検索結果がデフォルト表示されています。



The screenshot shows an iPad interface with a search results table. The status bar at the top indicates 'iPad', signal strength, time '16:15', and battery level '69%'. The search bar contains 'OK', '検索', and navigation arrows. The table header shows '最新インプットサンプル', 'レコード件数: 12', and '更新日時: 2016年03月31日 19:21'. The table has 7 columns: 'レコードキー', '親バリュー', 'フィールド1', 'フィールド2', 'フィールド3', 'フィールド4', and 'フィールド5'. The 'フィールド1' column is highlighted in pink and contains the search results for 'TEXT1'. A red dashed box highlights the search input field and the first row of results.

レコードキー	親バリュー	フィールド1	フィールド2	フィールド3	フィールド4	フィールド5
KEY1	P1	TEXT11	2014/4/1	1:00		TRUE
KEY999	P999	TEXT11	2014/4/1	1:00	999999999999999	TRUE
KEY10	P10	TEXT10	2014/4/10	10:00	-1	FALSE
KEY11	P11	TEXT11	2014/4/11	11:00	0	TRUE
KEY12	P12	TEXT12	2014/4/12	12:00	1200	FALSE

マスター選択デフォルト検索値設定方法

- マスター選択クラスターの検索値のデフォルト値にしたいクラスターを先行とし、マスター選択クラスターを後続としたネットワークを設定します。「ネットワーク一覧」から該当のネットワーク設定を選択した状態で右クリックメニューから「マスター選択デフォルト検索値設定」を実行し、マスター選択クラスターに設定されているカスタムマスターデータの内、どのフィールドの検索値として使用するかをチェックを付けて設定します。

■テキスト系

キーボード
クラスター-0 (先行) → マスター選択 (後続) → テキスト

手書きデジタル
クラスター-5 → マスター選択 → テキスト

単一選択(ロール)
クラスター-10 → マスター選択 → テキスト

単一選択(ライン)
クラスター-15 → マスター選択 → テキスト

単一選択(トグル)
クラスター-20 → マスター選択

ネットワーク一覧

入替	先行シートNo.	先行index	先行クラスター名称	後続シートNo.	後続index	後続クラスター名称	
⇄	1	0	クラスター-0				
⇄	1	5	クラスター-5			ネットワーク制限設定	
⇄	1	10	クラスター-10			バリューリング設定	False
⇄	1	15	クラスター-15			ネットワーク必須連携	False
⇄	1	20	クラスター-20			マスター選択デフォルト検索値設定	False
⇄	1	25	クラスター-25			ネットワーク削除	False

マスター選択デフォルト検索値設定

クラスター名称: マスター選択
クラスター種別: キーボードテキスト

最新インプットサンプル 最終更新日時:2016/03/31 19:21:11

フィールド名称	選択
レコードキー	<input type="checkbox"/>
親バリュー	<input type="checkbox"/>
フィールド1	<input checked="" type="checkbox"/>

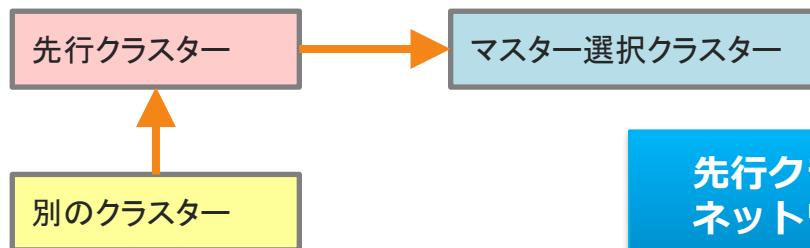
OK キャンセル

マスター選択デフォルト検索値設定の制限

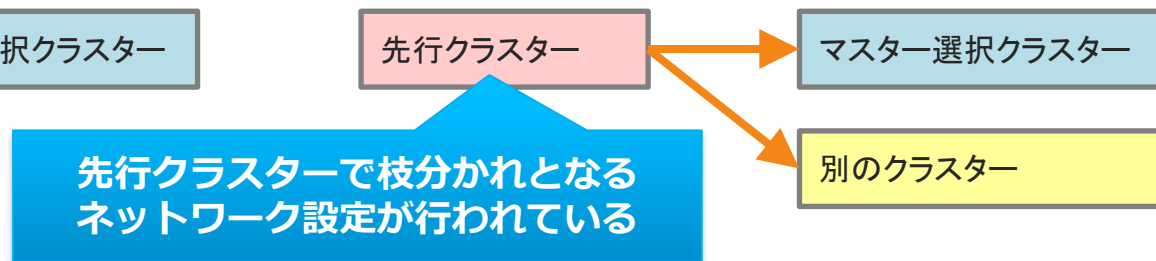
マスター選択デフォルト検索値設定が行われているネットワークの先行クラスターが、別のネットワークの先行クラスターでもある場合、（つまり、先行クラスターで枝分かれになるネットワーク設定が行われている場合）、**「後続クラスターのインプット部品を自動表示」**の設定が不可となります。

※ iOS版における制限となります。

• 制限を受けません



• 制限を受けます



制限を受ける場合、**「後続クラスターのインプット部品を自動表示」**の設定が表示されず自動でOFFの設定になりますが、**「ConMas i-Reporter Windows版で使用」**にチェックを入れることで設定が可能になります。

ネットワークの入替え

- 一度設定したネットワークは、一覧の[入替]列の矢印をダブルクリックすると、方向を逆転することができます。

作成日	部署名	作成者
	部署名 (後続)	部署名 (先行)

場	図面NO.

ネットワーク一覧				
入替	先行シートNo.	先行index	先行クラスター名称	後続シートNo.
⇄		2	部署名	1

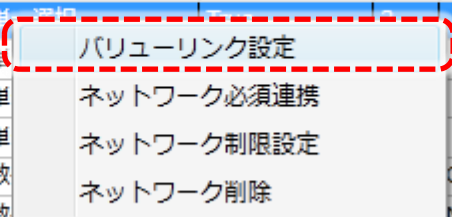
入替列の矢印をダブルクリックする

バリューリンクの設定

ネットワークを設定するとバリューリンクの設定が可能になります

- バリューリンク設定では、単一選択、複数選択のクラスターを対象に、先行の選択値で後続の選択可能な値を絞り込んで表示することができます。一覧の右クリックメニューから、[バリューリンク設定]を選択します。

入替	先行シートNo.	先行index	先行クラスター名称	後続シートNo.	後続index	後続クラスター名称	バリューリンク	Skip	大小関係	必須連携
⇔	2	46	単一選択	2	47	単一選択				False
⇔	2	47	単一選択	2	48	単一選択				False
⇔	2	48	単一選択	2	49	単一選択				False
⇔	2	49	単一選択	2	50	単一選択				False
⇔	2	8	数値	2	9	数値			GreaterEqual	False
⇔	2	14	数値選択	2	13	数値			NotEqual	False
⇔	2	20	チェック	2	20	チェック	False	0		True



▼ バリューリンクの設定

先行と後続の対応する要素をチェックします

- 左に先行クラスター、右に後続クラスターの項目が表示されます。
- 右の例では、先行の「第一工場」を選択した場合、後続の選択肢は「国内自動車部品」「海外自動車部品」「サービス部品」のみが表示されます。
- 対応する項目にチェックをつけて、[反映]ボタンを押すと、下段の[バリューリンク一覧]に、[親（1項目）,子（n項目）]として保存されます。
- 項目を変更するには一覧から項目を選択して[編集]を、削除するには[削除]を選択します。

株式会社シムトップス

作成日	
製造工場	第一工場
製品群	海外自動車部品
部品名	

国内自動車部品
海外自動車部品
サービス部品

OK

製品群は先行クラスターの値で絞りこまれます

クラスター3

対象	先行 ラベル	先行 値
<input checked="" type="checkbox"/>	第一工場	第一工場
<input type="checkbox"/>	第二工場	第二工場
<input type="checkbox"/>	第三工場	第三工場
<input type="checkbox"/>	第四工場	第四工場
<input type="checkbox"/>	第五工場	第五工場

>>

クラスター5

対象	後続 ラベル	後続 値
<input checked="" type="checkbox"/>	国内自動車部品	国内自動車部品
<input checked="" type="checkbox"/>	海外自動車部品	海外自動車部品
<input type="checkbox"/>	家電部品	家電部品
<input type="checkbox"/>	OA機器部品	OA機器部品
<input type="checkbox"/>	産業機械部品	産業機械部品
<input type="checkbox"/>	医療機械部品	医療機械部品
<input checked="" type="checkbox"/>	サービス部品	サービス部品

バリューリンク一覧

反映 編集 削除

親Value	選択Value
第一工場	国内自動車部品,海外自動車部品,サービス部品
第二工場	家電部品,OA機器部品,サービス部品
第三工場	産業機械部品,サービス部品
第四工場	医療機械部品,サービス部品
第五工場	海外自動車部品,サービス部品

OK

▼ バリュールinkの設定

先行クラスターを複数選択して反映した場合

- 先行クラスターを複数選択して反映した場合、先行の各項目は別々の親Valueとして保存されます。
- 例えば、この設定で先行の第一工場と第二工場をチェックして、後続の「国内自動車部品」「海外自動車部品」「サービス部品」をチェックして反映すると、次のようにそれぞれ保存されます。大二工場の設定は上書きとなります。

第一工場	国内自動車部品,海外自動車部品,サービス部品
第二工場	国内自動車部品,海外自動車部品,サービス部品

- バリュールinkを解除するには、ネットワークごと削除するか、バリュールink設定の一覧から全ての項目を削除してください。
- 先行クラスターで項目を選択後、後続クラスターの項目が1つの場合、後続クラスターに値が自動でセットされます。**※iOS版のみ対応**

親Valueと選択Valueの組合せは
1パターンのみとなります。

クラスター-3

対象	先行 ラベル	先行 値
<input checked="" type="checkbox"/>	第一工場	第一工場
<input checked="" type="checkbox"/>	第二工場	第二工場
<input checked="" type="checkbox"/>	第三工場	第三工場
<input checked="" type="checkbox"/>	第四工場	第四工場
<input checked="" type="checkbox"/>	第五工場	第五工場

クラスター-5

対象	後続 ラベル	後続 値
<input checked="" type="checkbox"/>	国内自動車部品	国内自動車部品
<input checked="" type="checkbox"/>	海外自動車部品	海外自動車部品
<input checked="" type="checkbox"/>	家電部品	家電部品
<input checked="" type="checkbox"/>	OA機器部品	OA機器部品
<input checked="" type="checkbox"/>	産業機械部品	産業機械部品
<input checked="" type="checkbox"/>	医療機械部品	医療機械部品
<input checked="" type="checkbox"/>	サービス部品	サービス部品

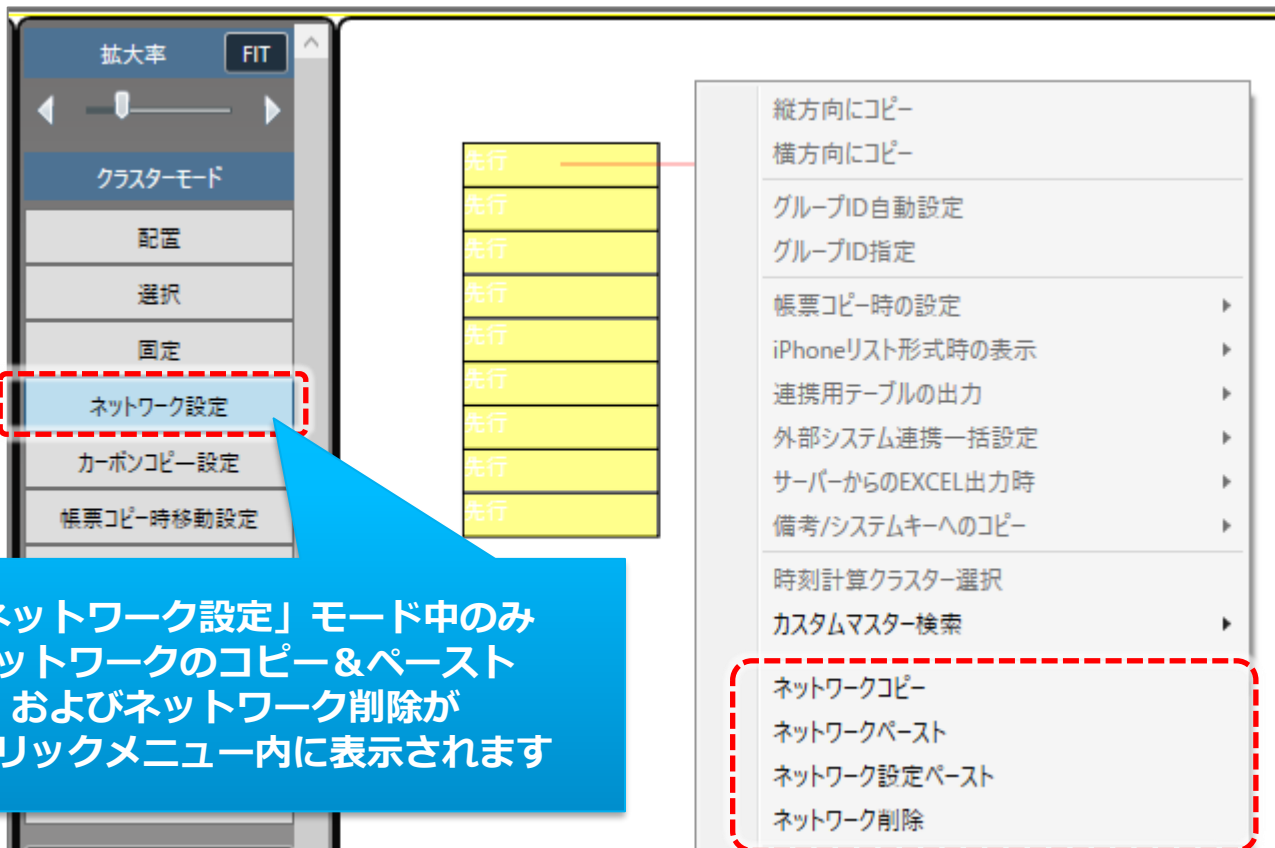
バリュールink一覧

親Value	選択Value
第一工場	国内自動車部品,海外自動車部品,サービス部品
第二工場	家電部品,OA機器部品,サービス部品
第三工場	産業機械部品,サービス部品
第四工場	医療機械部品,サービス部品
第五工場	海外自動車部品,サービス部品

ネットワークのコピーとペースト

「ネットワーク設定」モード中、編集画面の右クリックメニューからネットワークのコピー&ペーストおよび削除が可能です。

※ネットワークのコピー&ペーストは、先行クラスターと後続クラスターが同一シート内に存在するネットワークに対して有効となります。



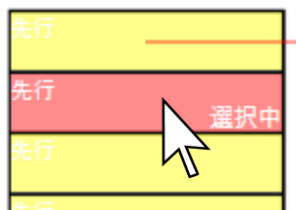
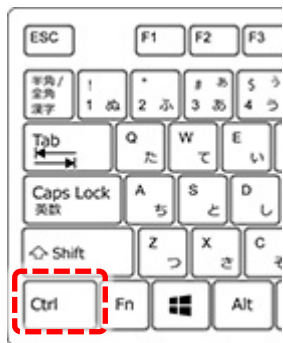
ネットワークのコピーとペースト時のクラスターの選択方法

「ネットワーク設定」モード中、ネットワークのコピーまたはペーストを目的にクラスターを選択する際は、

- ・ Ctrlキーを押下しながらマウスでクラスターをクリックする
- ・ マウสดラッグの範囲選択で対象としたいクラスターを囲む

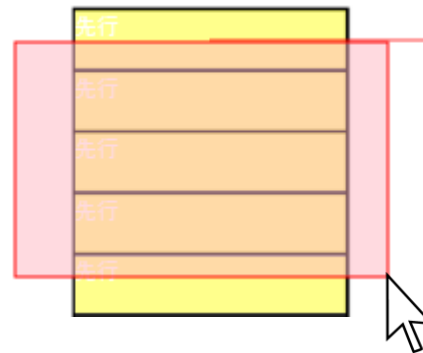
いずれかの方法で選択して下さい。（通常のマウスクリックでクラスターを選択した場合、ネットワーク設定を行うモードになるため）

Ctrlキーを押下しながら
マウスでクリック



または

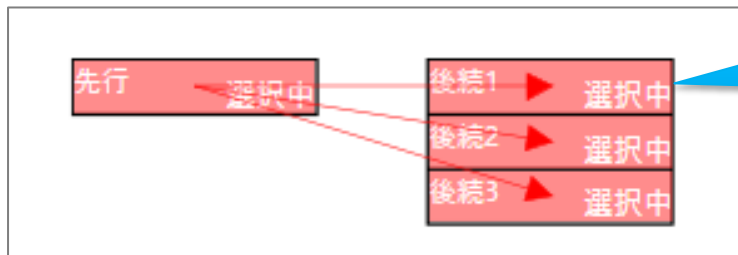
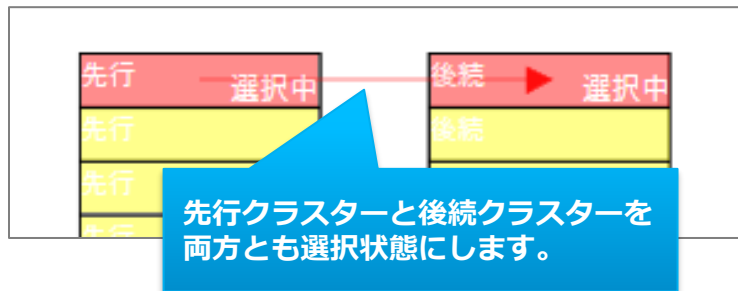
マウสดラッグの
範囲選択で囲む



ネットワークコピー

ネットワーク設定のコピーを行います。

- コピーしたいネットワーク設定の先行クラスターと後続クラスターの両方を**選択状態**にします。マウスのドラッグ操作による範囲選択、または、Ctrlキーを押下しながらのクリックによりクラスターを選択状態にすることができます。
- コピー時に選択状態にするクラスターの**クラスター名称は全て異なるもの**である必要があります。
- 複数のネットワークを同時にコピーすることも可能です。
- コピーした情報は「ネットワークペースト」と「ネットワーク設定ペースト」で使用できます。



ネットワーク一覧からのネットワークコピー

「ネットワーク一覧」から1行だけ選択した状態で、右クリックメニューの「ネットワークコピー」を実行することができます。単体のネットワークコピーではありますが、これにより編集画面上でクラスターを選択する手間が省け、また、シートを跨いだネットワーク設定のコピーが行えます。

- 通常のネットワークコピーと同様、コピー時に選択にするネットワーク情報の先行クラスターと後続クラスターの**クラスター名称は異なるもの**である必要があります。

1行だけ選択します。また、先行クラスター名称と後続クラスター名称が異なるものである必要があります。

ネットワーク一覧

入替	先行シートNo.	先行index	先行クラスター名称	後続index	後続クラスター名称	バリュールink	Skip	後続	
⇄	3	0	先行	3	1	後続1	True	2	1
⇄	3	0	先行	3	2	後続2	False	0	1
⇄	3	0	先行	3	3	後続3	False	0	1
⇄	3	4	先行	3	5	後続1	True	2	1
⇄	3	4	先行	3	6	後続2	False	0	1
⇄	3	4	先行	3	7	後続3	False	0	1
⇄	3	8	先行	3	9	後続1	True	2	1

ネットワーク制限設定
バリュールink設定
ネットワーク必須連携
マスター選択デフォルト検索値設定
ネットワークコピー
ネットワーク設定バースト
ネットワーク削除

ネットワークペースト

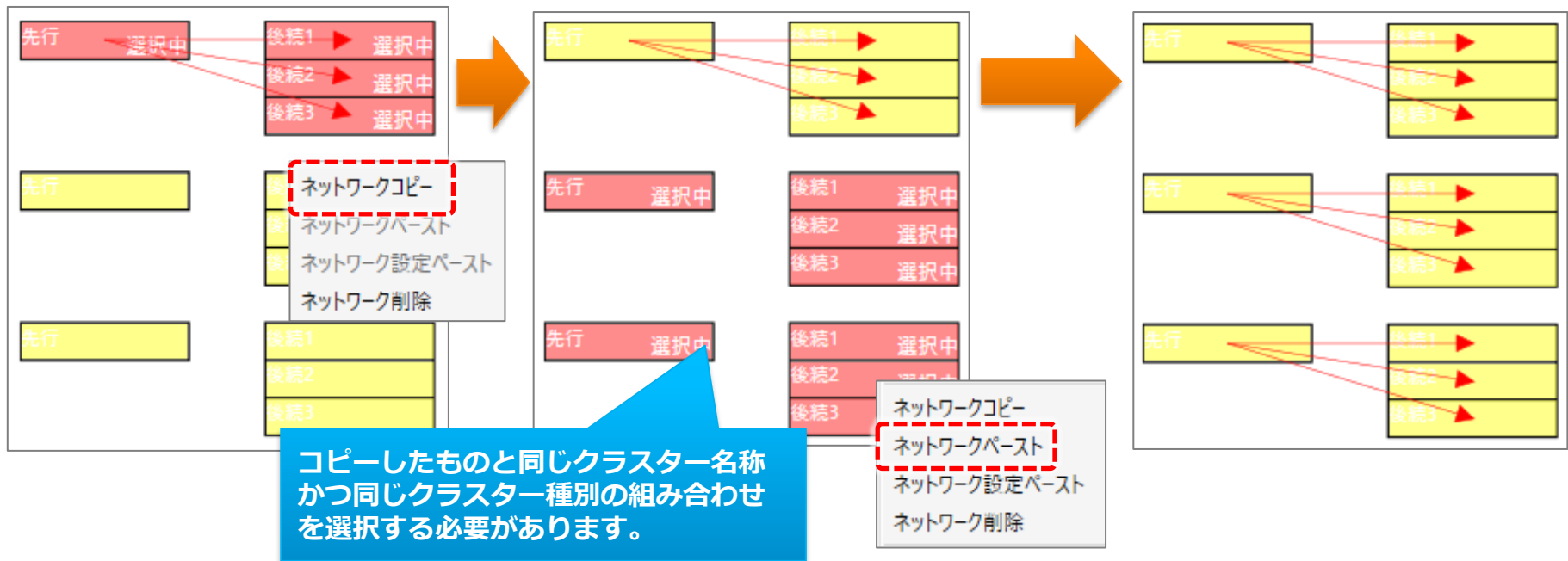
コピーしたネットワーク設定を、ネットワーク未設定のクラスターに対してペーストします。

- 先行クラスターにしたいクラスターと後続クラスターにしたいクラスターの両方を**選択状態**にします。
- 選択状態にしたクラスターは**全てネットワークが未設定のクラスター**である必要があります。
- ネットワークコピーした際に選択していたクラスターと、**同じクラスター名称かつ同じクラスター種別**のクラスターの組み合わせに対してネットワークがペーストされます。

※同じクラスター名称のクラスターを作成するには、

ConMas Designerの設定「クラスター名称の一意制約チェック」が【制約なし】である必要があります

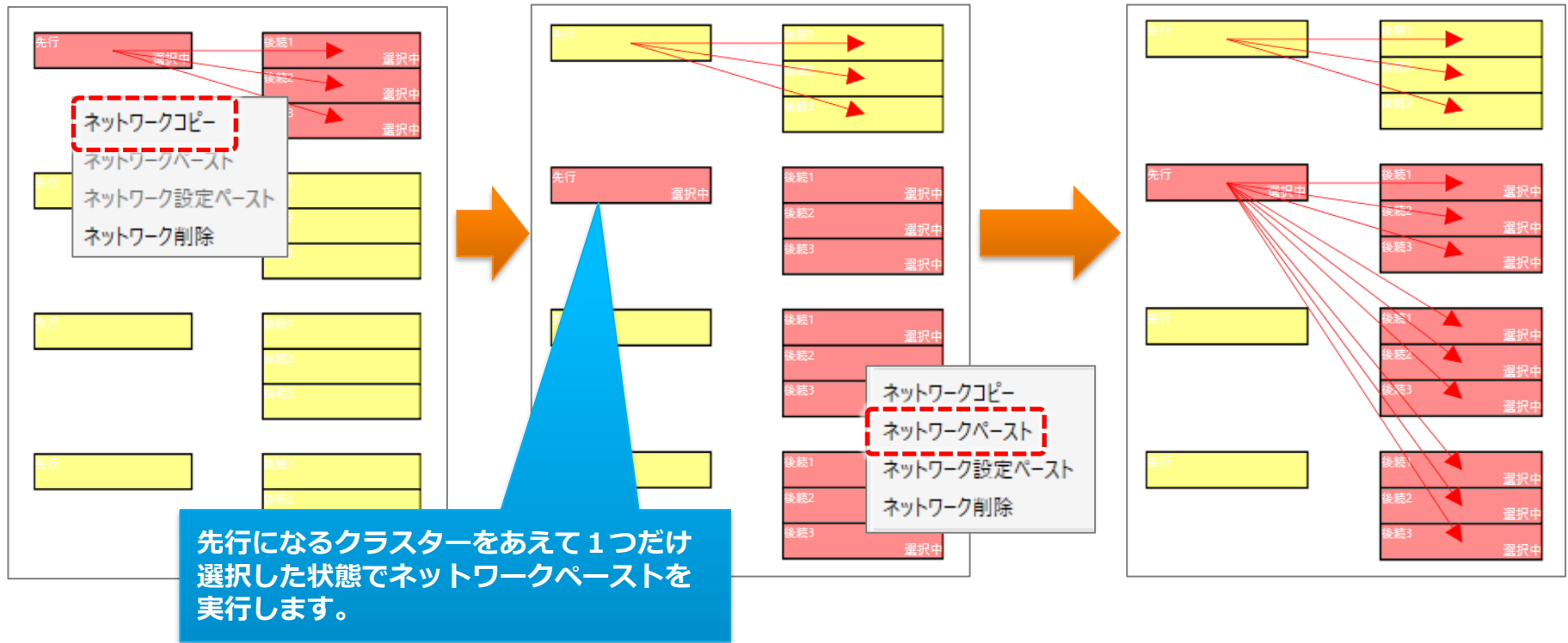
- 複数のクラスターに対して同時にネットワークペーストすることも可能です。
- ネットワークペースト実行後はクラスター名称を変更して頂いても差支えありません。



ネットワークペースト（先行または後続クラスターが1つの場合）

ネットワークペースト時に選択している、先行または後続クラスターが1つの場合、そのクラスターに繋がる複数のネットワークを一括してペーストすることができます。

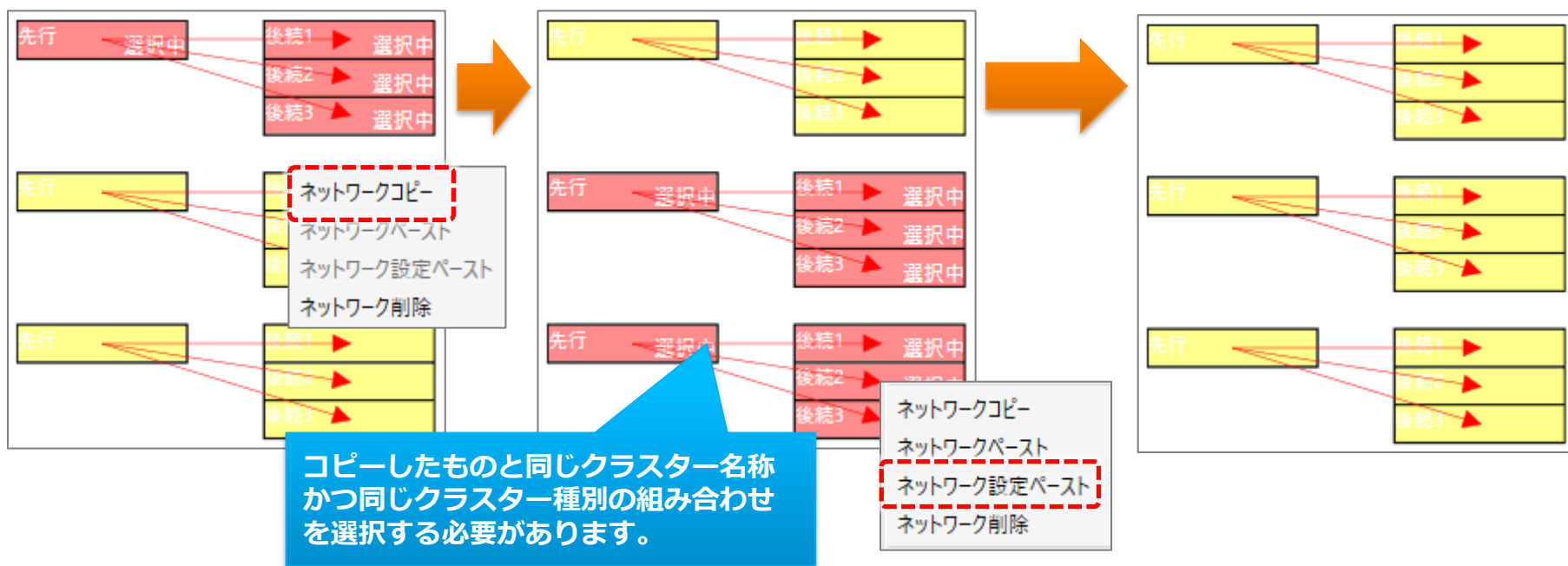
- ペースト条件は、先行または後続となるクラスターが1つだけ選択された状態であること以外は、通常のネットワークペーストと同じです。



ネットワーク設定ペースト

既にネットワーク設定されたクラスターに対してネットワーク設定だけをペーストします。

- まだネットワーク設定されていないクラスターに対してネットワークをペーストしたい場合は先述の「ネットワークペースト」を使用して下さい。
- 既にネットワーク設定されているクラスターに対してネットワークの設定をペーストしたい場合にこの「ネットワーク設定ペースト」を使用します。「ネットワークペースト」と異なるのはこの点だけで、「ネットワーク設定ペースト」を行うための条件と手順は「ネットワークペースト」と同様です。



ネットワーク一覧からのネットワーク設定ペースト

「ネットワーク一覧」から複数行選択し、右クリックメニューの「ネットワーク設定ペースト」を実行することができます。これにより編集画面上でクラスターを選択する手間が省け、また、シートを跨いだネットワーク設定ペーストが行えます。

- ネットワーク一覧上でのネットワーク設定ペーストを行うための条件は、通常のネットワーク設定コピーと同一です。

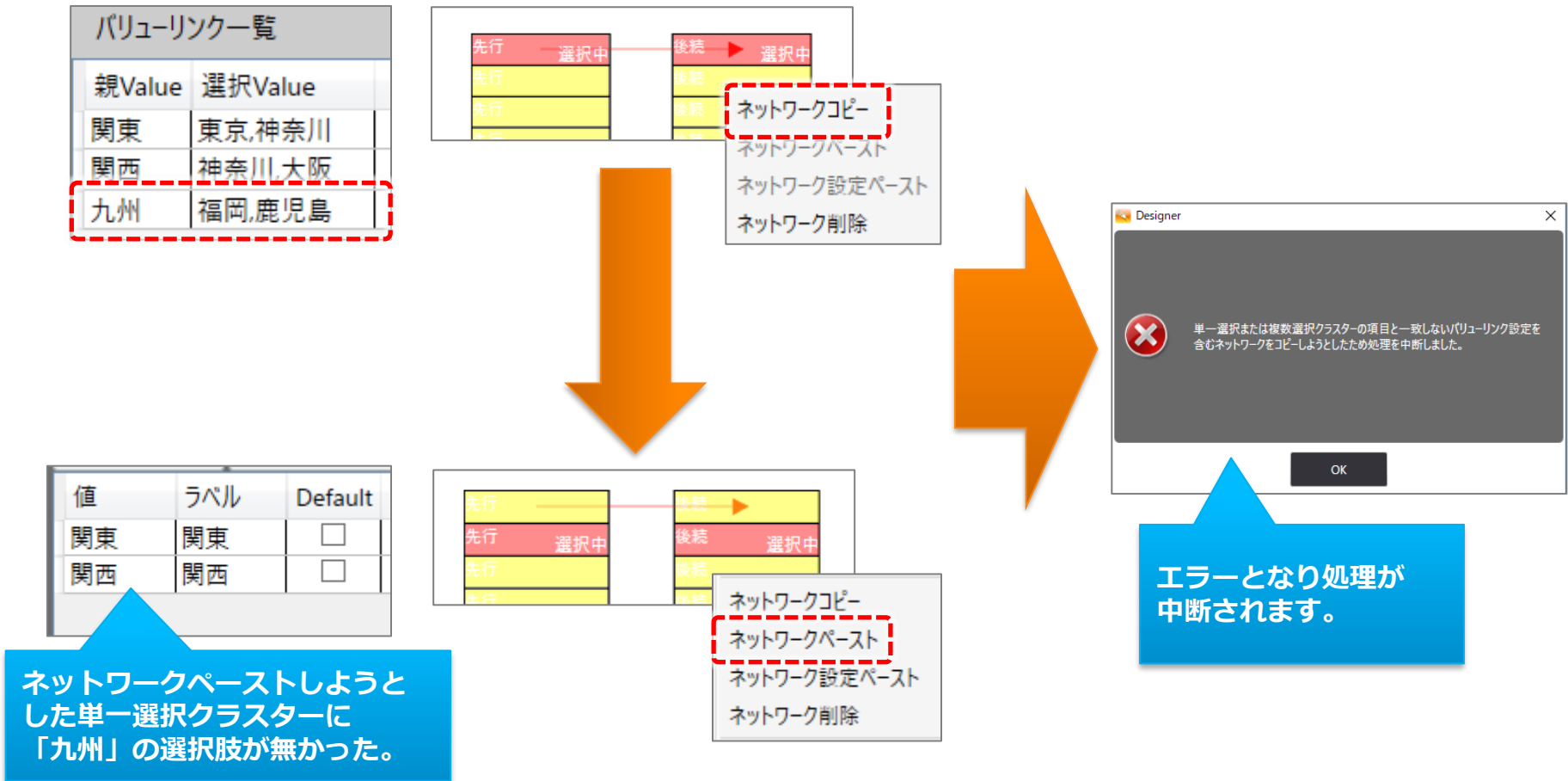
複数行を選択してネットワーク設定ペーストすることも可能です。

The screenshot shows a table titled 'ネットワーク一覧' (Network List) with the following columns: 入替 (Replace), 先行シートNo. (Pre-sheet No.), 先行index (Pre-index), 先行クラスター (Pre-cluster), 後続シートNo. (Post-sheet No.), 後続index (Post-index), 後続クラスター名称 (Post-cluster name), バリュールink (Value link), Skip, and 後続 (Post). The table contains several rows of data, with a group of four rows (rows 2, 3, 4, and 5) highlighted in blue. A red dashed box surrounds this group. A context menu is open over the highlighted rows, listing several options: ネットワーク制限設定 (Network restriction setting), バリュールink設定 (Value link setting), ネットワーク必須連携 (Network mandatory linkage), マスター選択デフォルト検索値設定 (Master selection default search value setting), ネットワークコピー (Network copy), ネットワーク設定ペースト (Network settings paste), and ネットワーク削除 (Network deletion). The 'ネットワーク設定ペースト' option is highlighted with a red dashed box.

入替	先行シートNo.	先行index	先行クラスター	後続シートNo.	後続index	後続クラスター名称	バリュールink	Skip	後続
⇄	1	0	先行	1	1	後続	True	2	1
⇄	1	2	先行	1	3	後続	True	2	1
⇄	1	4	先行	1	5	後続	True	2	1
⇄	1	6	先行	1	7	後続	True	2	1
⇄	1	8	先行	1	9	後続	True	2	1
⇄	1	10	先行	1	11	後続	True	2	1
⇄	1	12	先行	1	13	後続	True	2	1

バリューリンク設定を含むネットワークペースト/設定ペースト

バリューリンク設定に関わる選択肢が存在しないクラスターへネットワークペーストまたはネットワーク設定ペーストしようとした場合、エラーメッセージが表示されペースト処理が中断されます。



ネットワーク必須連携設定を含むネットワークペースト/設定ペースト

ネットワーク必須設定に関わる選択肢が存在しないクラスターへネットワークペーストまたはネットワーク設定ペーストしようとした場合、エラーメッセージが表示されペースト処理が中断されます。

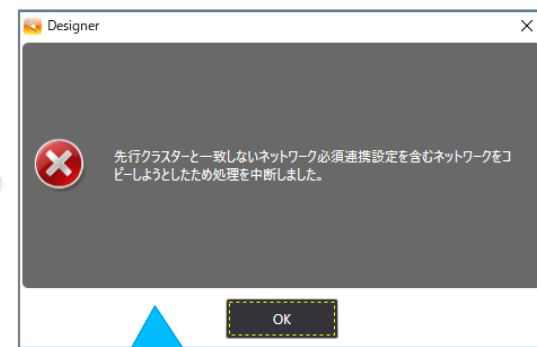
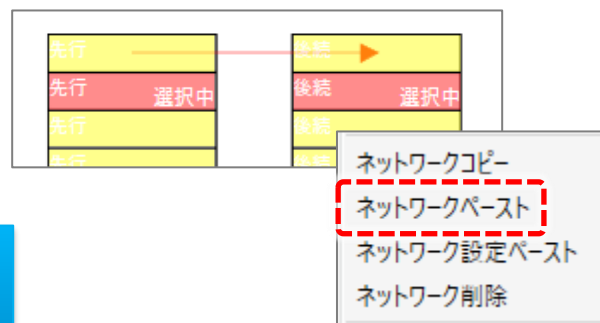
ネットワーク必須連携

先行クラスター:
 オールチェック

値	ラベル	後続必須
A	A	<input checked="" type="checkbox"/>
B	B	<input checked="" type="checkbox"/>
C	C	<input checked="" type="checkbox"/>
D	D	<input type="checkbox"/>
E	E	<input type="checkbox"/>

値	ラベル	Default
B	B	<input type="checkbox"/>
C	C	<input type="checkbox"/>
D	D	<input type="checkbox"/>
E	E	<input type="checkbox"/>

ネットワークペーストしようとした単一選択クラスターに「A」の選択肢が無かった。



エラーとなり処理が中断されます。

マスター選択デフォルト検索値設定を含むネットワークペースト/設定ペースト

マスター選択デフォルト検索値の設定を行ったマスターデータと異なるマスターが設定されたマスター選択クラスターへネットワークペーストまたはネットワーク設定ペーストしようとした場合、エラーメッセージが表示されペースト処理が中断されます。

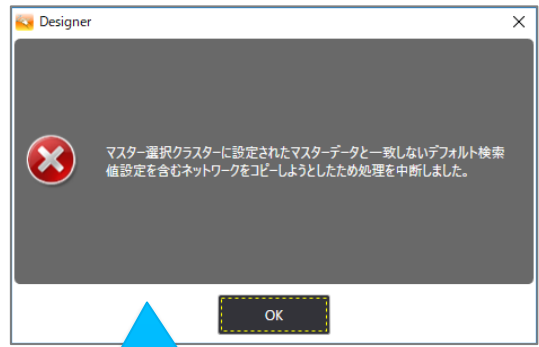
顧客マスタ(Demo Sample)	マスター選択
レコードキー	入カフィールド設定

先行	選択中	連続	ネットワークコピー
先行		連続	ネットワークペースト
先行		連続	ネットワーク設定ペースト
先行		連続	ネットワーク削除

ネットワークコピー元と異なるマスターデータが設定されている。

最新インプットサンプル	マスター選択
レコードキー	入カフィールド設定

先行		連続	ネットワークコピー
先行	選択中	連続	ネットワークペースト
先行		連続	ネットワーク設定ペースト
先行		連続	ネットワーク削除

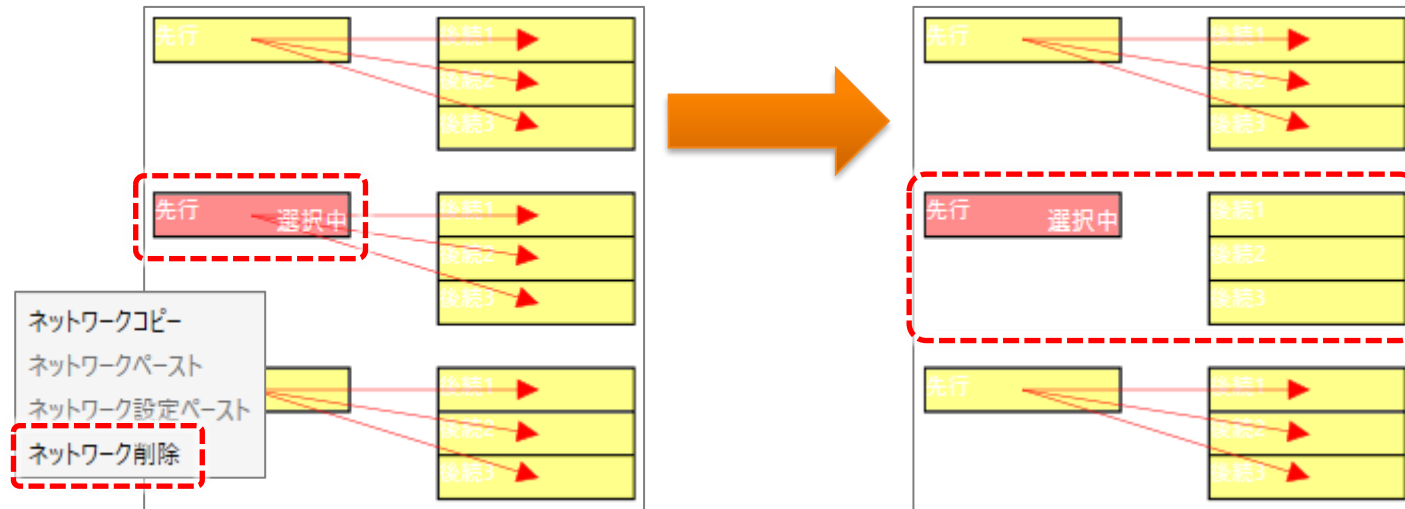


エラーとなり処理が中断されます。

ネットワーク削除

編集画面上で選択したクラスターに関連するネットワークを削除します。

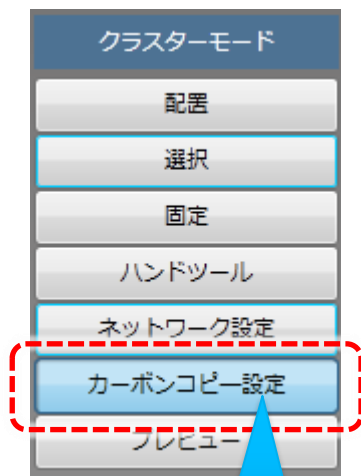
- ネットワーク一覧グリッド上でもネットワークの削除は行えますが、こちらを利用することで、編集画面上でクラスターを選択を行い、そのクラスターに関連するネットワークの削除を右クリックメニューから行うことができます。
- ネットワークペーストで設定の間違いにより意図しないネットワークが作成された際などにご利用頂くと便利です。
- 選択したクラスターに関連するネットワークは全て削除されます。
- 先行クラスターだけ、または、後続クラスターだけ選択した状態でも削除が行えます。このため、シートを跨いだネットワークであっても削除することができます。



カーボンコピーの設定

複写帳票のように入力値を別のクラスターにもコピーできます

- カーボンコピー設定では、あるクラスターに記入した値を、別のクラスターにも自動的に記入することができ、複写式帳票・伝票と同じ使い方ができます。紙では重なった同じ場所にしか複写できませんが、カーボンコピー設定では別の場所や、同じ紙面上でも複写させることができます。



[クラスターモード]の、
[カーボンコピー設定]
を選択します。

コピー元となるクラスターを選択します。クリックするとクラスターの右下に「選択中」と表示されます。ここで選択したクラスターにiPad上で入力した値が、コピー先クラスターに自動入力されます。

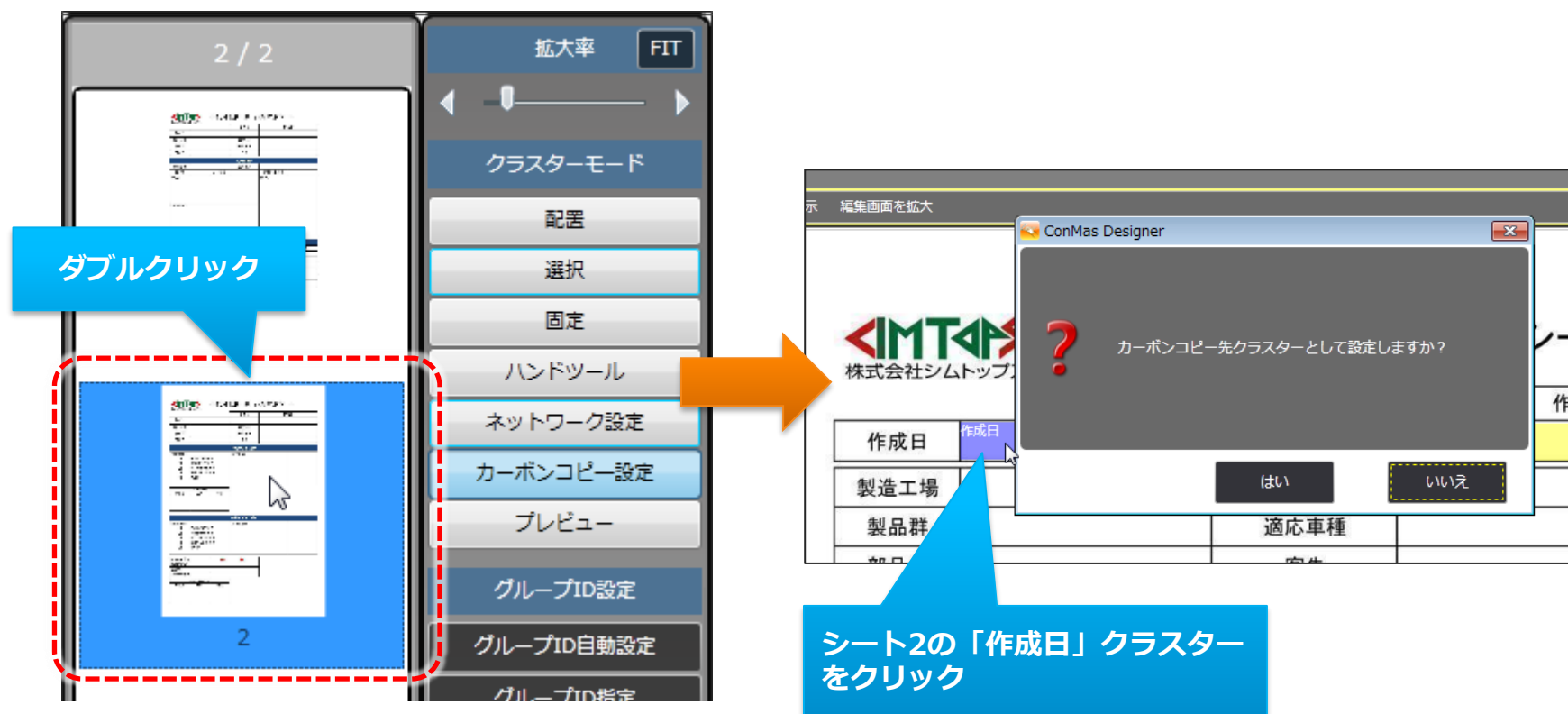
The screenshot shows a form for '株式会社シムトップス' (CIMTOPS Corporation) titled '不具合報告' (Defect Report). The form has fields for '作成日' (Creation Date), '製造工場' (Manufacturing Plant), and '製品群' (Product Group). The '作成日' field is highlighted with a red dashed box, and a mouse cursor is pointing at it. The text '選択中' (Selected) is visible in the bottom right corner of the '作成日' field.

シート1の「作成日」クラスター
をクリック

ここでは、2枚目のシートの「作成日」をコピー先に設定することにします。

▼ カーボンコピーの設定

- [シート一覧]で2枚目をダブルクリックします。編集画面の帳票画像やクラスターが2枚目の内容に変わります。
- コピー先クラスターを選択します。クリックした時点で、「カーボンコピー先クラスターとして設定しますか?」とダイアログが表示されるので、「はい」を選択します。これで、シート1の「作成日」クラスターに日付が入ると、シート2にも同じ値が入力されます。
- なお、カーボンコピー元と先は同じクラスター種別である必要があります。カスタムマスター設定などで既に他の設定が行われているクラスターにはカーボンコピー設定はできません。



▼ カーボンコピーの設定

- [カーボンコピー設定]を選択中はクラスター一覧が「カーボンコピー一覧」に変化しています。上記の設定後に一覧に新しい行が追加されます。

カーボンコピー一覧					
コピー元シートNo.	コピー元index	コピー元クラスター名称	コピー先シートNo.	コピー先index	コピー先クラスター名称
1	0	作成日	2	31	作成日-2
1	1	部署名	2	32	部署名-2
1	2	作成者	2	33	作成者-2

- 任意の行で右クリックメニューから、カーボンコピー設定を削除できます。複数行を選択して一括削除することもできます。

カーボンコピー一覧					
コピー元シートNo.	コピー元index	コピー元クラスター名称	コピー先シートNo.	コピー先index	コピー先クラスター名称
1	0	作成日	2	31	作成日-2
1	1	部署名	2	32	部署名-2
1	2	作成者	2	33	作成者-2

右クリックメニュー: カーボンコピー削除

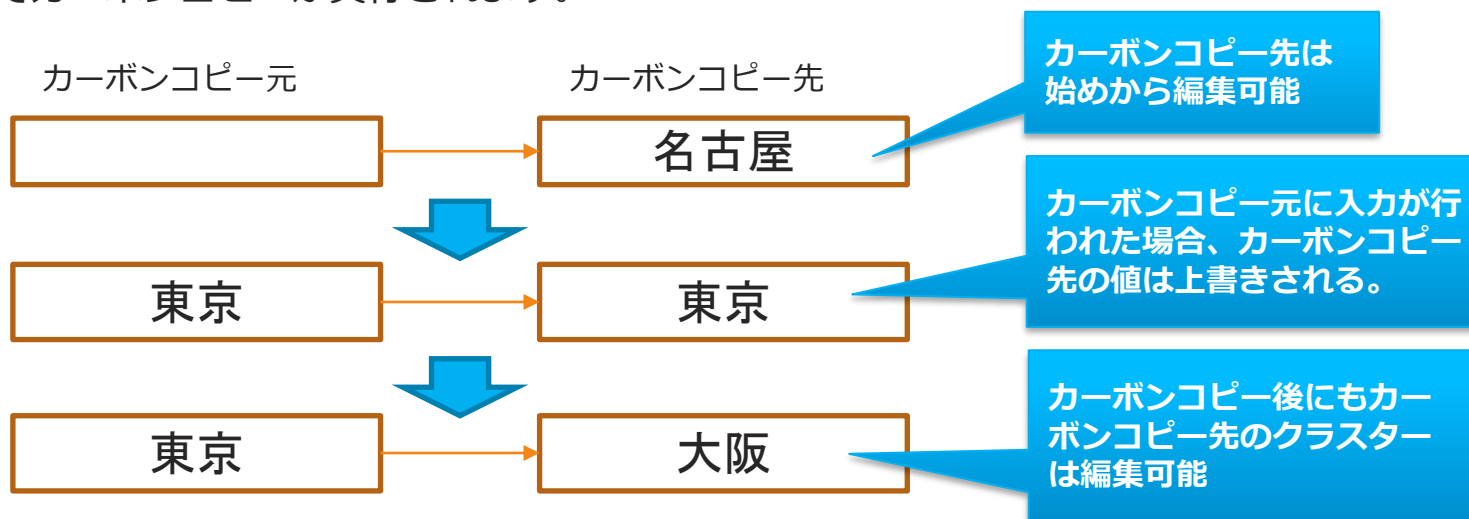
※帳票登録者、帳票登録年月日、帳票更新者、帳票更新年月日、GPS位置情報、アクション、ピン打ち関連のクラスターはカーボンコピー設定対象外のクラスター種別となります。計算式クラスターをカーボンコピー設定した場合は、カーボンコピー先の計算式がカーボンコピー元の計算式に上書きされ削除されますのでご注意ください。

カーボンコピー先の編集可否

- カーボンコピー先となるクラスターの編集可否を「カーボンコピー一覧」の「後続編集」項目から設定することができます。

コピー元シートNo.	コピー元index	コピー元クラスター名称	コピー先シートNo.	コピー先index	コピー先クラスター名称	後続編集
1	0	キーボードテキスト	1	2	キーボードテキスト	不可
1	1	手書きデジタル	1	3	手書きデジタル	不可
1	4	単一選択(ロール形式)	1	8	単一選択(ロール形式)	可能
1	5	単一選択(ライン形式)	1	9	単一選択(ライン形式)	不可
1	6	単一選択(トグル形式)	1	10	単一選択(トグル形式)	不可
1	7	複数選択	1	11	複数選択	不可

- こちらを編集可能に設定した場合、カーボンコピーを実行した後でカーボンコピー先のクラスターの値を編集する事ができるようになります。この際、カーボンコピー先のクラスターは始めから編集可能な状態で帳票が作成されます。
- また、先にカーボンコピー先のクラスターに入力を行ってからカーボンコピーを実行した場合、値を上書きしてカーボンコピーが実行されます。



カーボンコピー先の編集可否の一括変更

- カーボンコピー一覧から編集可否を一括して変更したいデータを複数選択し（Ctrlキーを押下しながらデータ行をクリックすることで連続していないデータ行を複数選択することも可能です）
右クリックメニューから「後続編集」を選び、「不可」「可能」から設定したい方をクリックします。

①一括変更したいデータ行を複数選択します。

②右クリックメニューから「後続編集」を選びます。

③「不可」「可能」のうち設定したい方をクリックします。

④後続編集の設定が一括して変更されます。

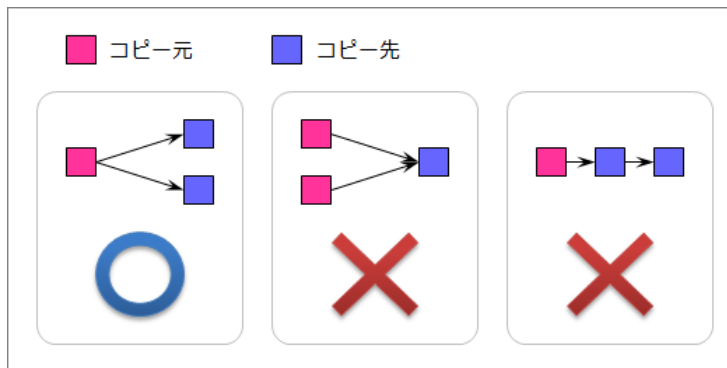
コピー元シートNo.	コピー元index	コピー元クラスター名称	コピー先シートNo.	コピー先index	コピー先クラスター名称	後続編集
1	0	キーボードテキスト	1	2	キーボードテキスト	不可
1	1	手書きデジタル	1	3	手書きデジタル	不可
1	4	単一選択(ロール形式)	1	8	単一選択(ロール形式)	不可
1	5	単一選択(ライン形式)	1	9	単一選択(ライン形式)	不可
1	6	単一選択(トグル形式)	1	10	単一選択(トグル形式)	不可
1	7	複数選択	1	11	複数選択	不可
1	12	手書きノート形式	1	16	手書きノート形式	不可

コピー元シートNo.	コピー元index	コピー元クラスター名称	コピー先シートNo.	コピー先index	コピー先クラスター名称	後続編集
1	0	キーボードテキスト	1	2	キーボードテキスト	不可
1	1	手書きデジタル	1	3	手書きデジタル	不可
1	4	単一選択(ロール形式)	1	8	単一選択(ロール形式)	不可
1	5	単一選択(ライン形式)	1	9	単一選択(ライン形式)	不可
1	6	単一選択(トグル形式)	1	10	単一選択(トグル形式)	可能
1	7	複数選択	1	11	複数選択	可能
1	12	手書きノート形式	1	16	手書きノート形式	可能

カーボンコピーの制限

1. コピー先の指定と、クラスター種別の変更に制限があります

- カーボンコピー設定では、例えば1枚目の記入内容を2枚目、3枚目…と反映するような、コピー元が複数のコピー先を持つ1対多の設定が可能です。多対1、連鎖的なコピーは設定できません。



- カーボンコピーを設定したクラスターは、種別の変更ができません。変更する場合は一度カーボンコピーを削除し、コピー元とコピー先のそれぞれを変更後、再度設定してください。

2. カーボンコピーが動作するタイミング

- カーボンコピーは、コピー元のクラスターの値に変動があったときに動作します。
入力前帳票および帳票コピー機能で作成した帳票に、予めカーボンコピー元に値を入れていても、帳票を開いた時点ではコピー元クラスターの値は変動しない（※）ので、カーボンコピーは動作しません。
※自動入力設定をしているクラスターを除く。
 - ▼自動入力設定ができるクラスター
 - 年月日、カレンダー年月日、時刻

カーボンコピー先にも予め値を入れた状態で帳票を開きたい場合は、入力前帳票作成時、および帳票コピーの設定で、カーボンコピー先にも値が入るように設定してください。

計算式を利用したEXCELファイル上でのカーボンコピー設定

計算式を利用してEXCELファイル上でカーボンコピー設定を行うことができます

- 下記の手順でEXCELファイル上で予めカーボンコピー設定を行うことができます。カーボンコピー設定は該当のEXCELファイルをDesignerへ取込むことで自動設定されます。計算式を用いる設定方法のため、こちらの方法では計算式クラスター、時刻計算クラスターのカーボンコピー設定はできません。

	A	B	C	D
1				
2				
3				

カーボンコピー元
にしたい

カーボンコピー先
にしたい

カーボンコピー元と先は同じクラスター種別である必要があり、カーボンコピー先となるクラスターはカスタムマスター設定など他の設定が行われていない状態でなければなりません。つまり、カーボンコピー設定が可能な状態である必要があります。

(カーボンコピー元と先は異なるシート間でも可)

	A	B	C	D
1				
2			=B2	
3				

カーボンコピー先となるセルに対して計算式を記述します。計算式は、カーボンコピー元のセルをイコールで指定した形にします。

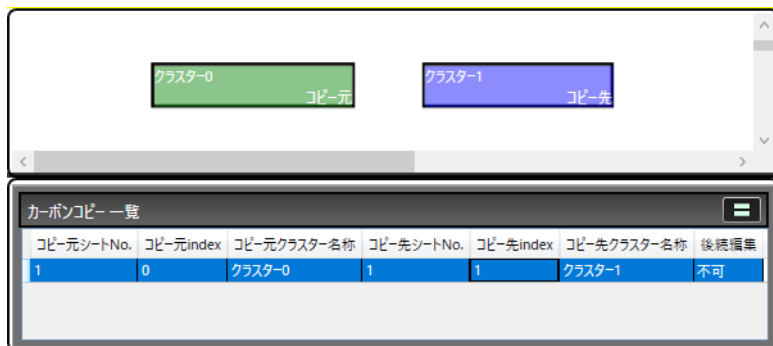
(四則演算・EXCEL関数などは使用できません)

(Designer取込み時にこの計算式は削除されます)

	A	B	C	D
1				
2				0
3				

計算式を設定するためEXCELファイル上ではカーボンコピー先となるセルに「0」などの計算結果が表示された状態になりますが、Designer取込み時にこの計算式は削除されますのでこの状態で問題ありません。

計算式を利用したEXCELファイル上でのカーボンコピー設定



Designerへ取り込むと自動的にカーボンコピー設定が作成されます。



Designerへ取込みした際にカーボンコピー設定の自動作成に失敗した場合、失敗したセルの位置と失敗原因の一覧がエラーメッセージとして表示されます。

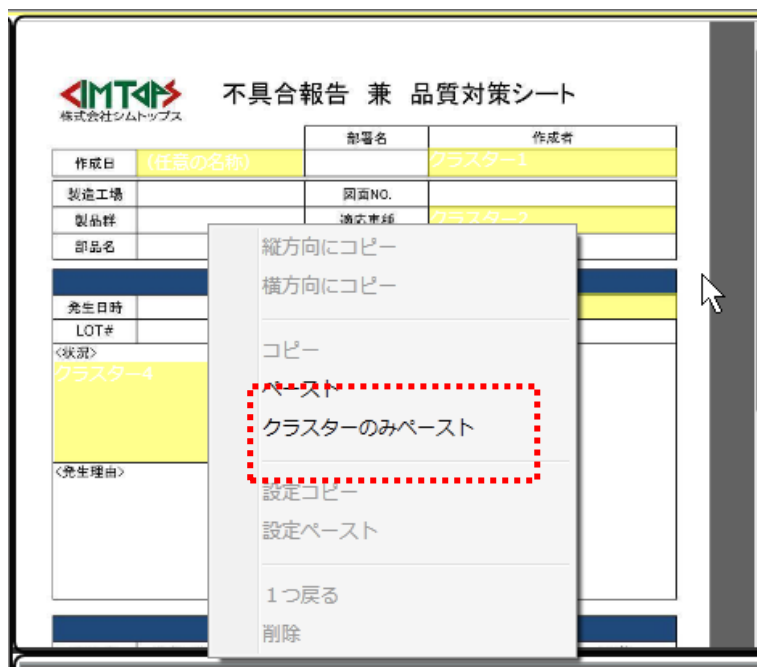
こちらのメッセージに表示された箇所のカーボンコピー設定は作成されていないのでご注意ください。

クラスターのコピーによるネットワーク/カーボンコピー情報のコピー

以下の方法は、PDFファイル、または、画像を元に帳票定義を作成した場合に有効な方法となります。
EXCELファイルから帳票定義を作成した場合は、Designer上でコピーしたクラスターは次回EXCEL定義出力時に削除されるため、以下の方法は推奨されません。

ネットワーク・カーボンコピー情報のコピー

- クラスターのコピーを実施した際に、ネットワーク・カーボンコピー情報も一緒にコピーすることができます。
- 「ペースト」を選択すればネットワーク・カーボンコピー情報も一緒にコピーされます。
「クラスターのみペースト」を選択すれば従来通りクラスター情報のみをコピーします。



- ペースト
ネットワーク情報とカーボンコピー情報も一緒に貼り付け。
- クラスターのみペースト
クラスター情報のみを貼り付け。
(従来の仕様と同一)

クラスターのコピーによるネットワーク/カーボンコピー情報のコピー

ネットワーク・カーボンコピー情報のコピー

- また、ネットワーク線を確認しながらコピー可能とするため、「ネットワーク設定」モード中でも範囲選択による複数クラスター選択とCtrlキーを押下しながらの複数クラスター選択を可能としました。また、右クリックメニューの「コピー」のみ実施可能となります。
(ペーストは「配置モード」「選択モード」で実施する必要があります)

株式会社シムトップス

不具合報告 兼 品質対策シート			
作成日	部署名	作成者	
(任意の)		クラスター1	
製造工場	図面NO.		
製品群	適応車種	クラスター2	
部品名	客先		
不具合内容			
発生日時	発見場所	クラスター3	
LOT#	SERIAL#	不具合品数	
<状況>		<写真>	
クラスター4			
<発生理由>			

株式会社シムトップス

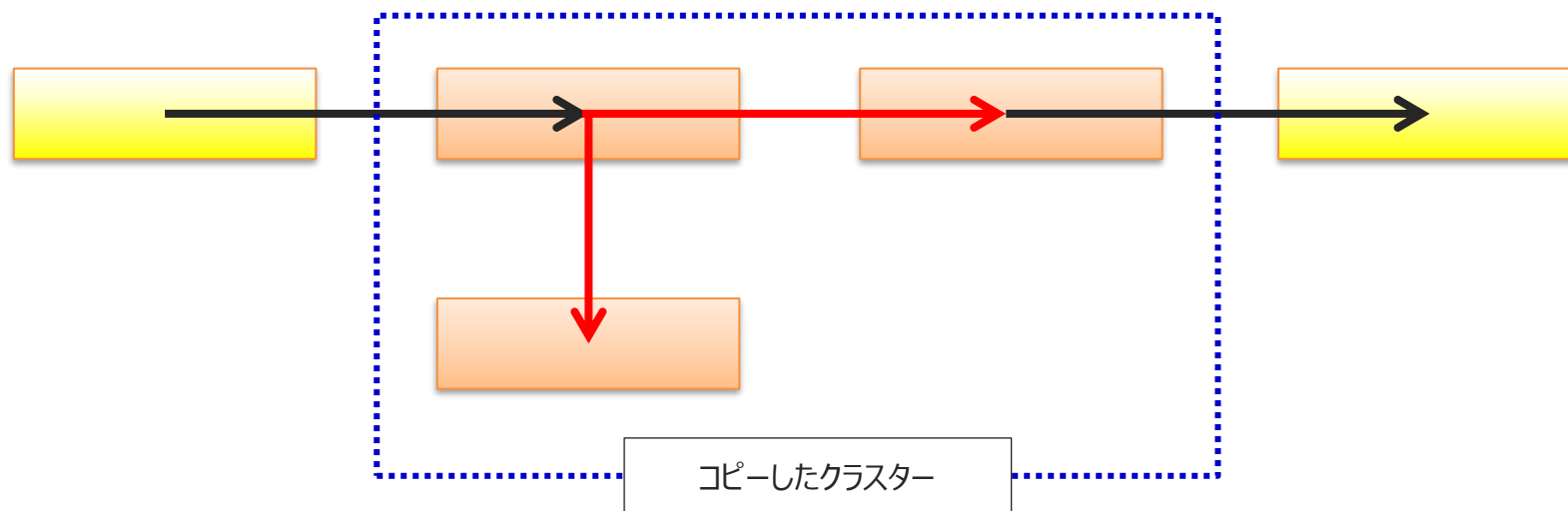
不具合報告 兼 品質対策シート			
作成日	部署名	作成者	
(任意の)		クラスター1	
製造工場	図面NO.		
製品群	適応車種		
部品名	客先		
不具合内容			
発生日時	発見場所		
LOT#	SERIAL#	不具合品数	
<状況>		<写真>	
クラスター4			
<発生理由>			

- 縦方向にコピー
- 横方向にコピー
- コピー**
- ペースト
- クラスターのみペースト
- 設定コピー
- 設定ペースト
- 1つ戻る
- 削除

クラスターのコピーによるネットワーク/カーボンコピー情報のコピー

ネットワーク情報のコピー

- ネットワーク情報のコピーは、先行クラスターと後続クラスターが両方とも指定された場合に限りコピー対象となります。
なお、ネットワークに関する設定はすべてコピーされます。(バリューリンク、ネットワーク制限)

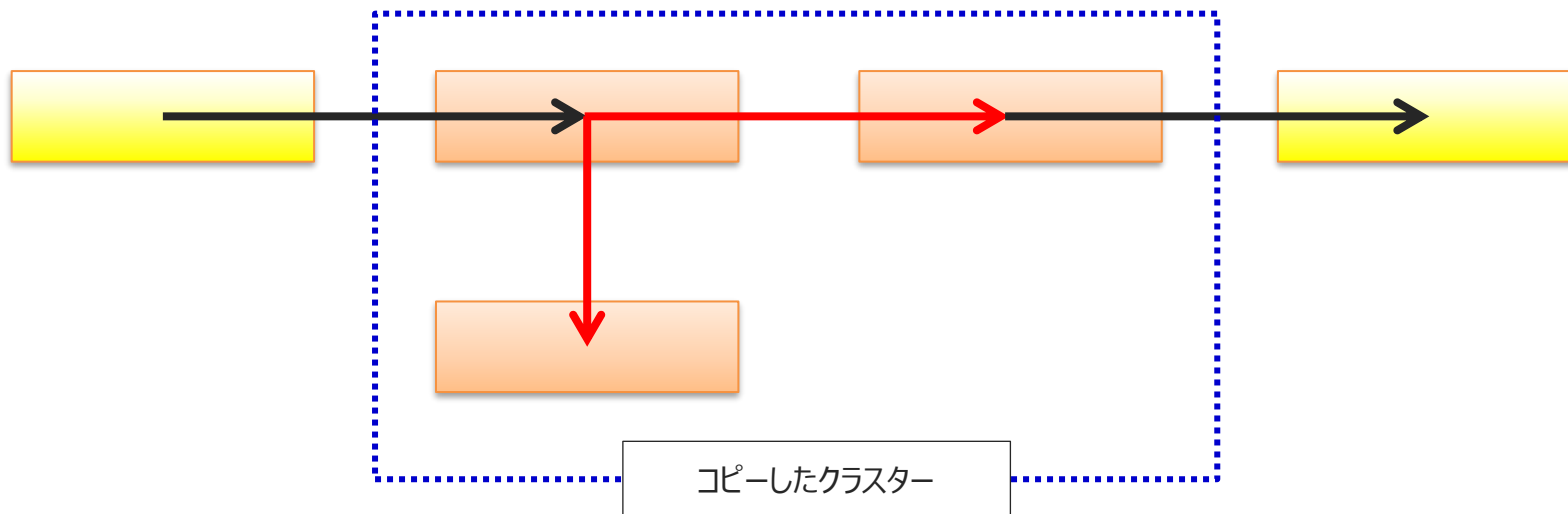


→ コピー対象外のネットワーク

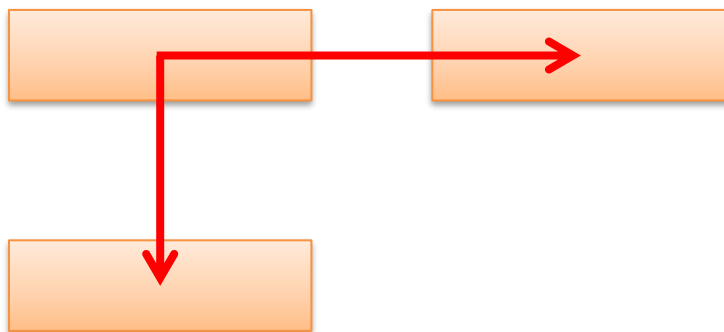
→ コピー対象のネットワーク

クラスターのコピーによるネットワーク/カーボンコピー情報のコピー

ネットワーク情報のコピー



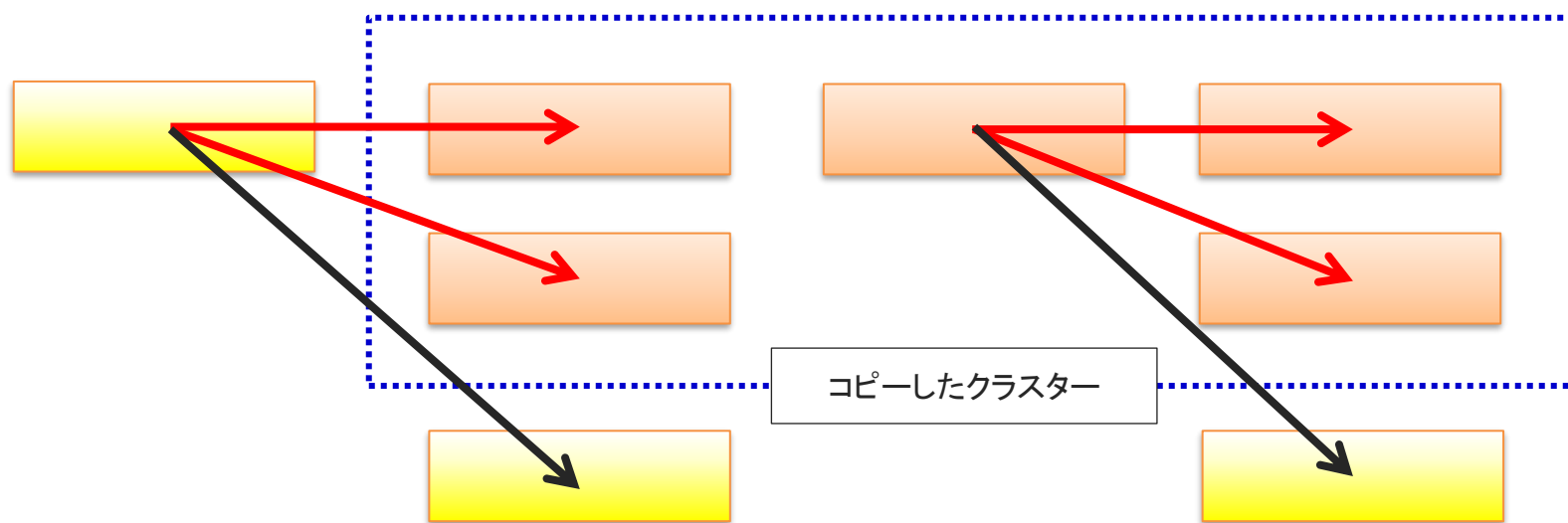
ペーストした場合



クラスターのコピーによるネットワーク/カーボンコピー情報のコピー

カーボンコピー情報のコピー

- カーボンコピー情報のコピーは、コピー元とコピー先のクラスターが両方とも指定された場合、または、コピー先クラスターが指定された場合に、コピー対象となります。



————→ コピー対象外のカーボンコピー情報

————→ コピー対象のカーボンコピー情報

クラスターのコピーによるネットワーク/カーボンコピー情報のコピー

カーボンコピー情報のコピー

